

埼玉県連ハイキングに 参加して

事務局 池田 卓哉

平成30年5月12日に埼玉県支部連合会のハイキングが実施され、和久井理事長、今井専務理事、本塚専務理事と参加させていただきました。今回のコースは埼玉県川口市の駅周辺を散策し、荒川運動公園を目指します。川口駅周辺、特に駅東口は商業化が進んでいますが、対照的に居住空間としての街づくりがすすんでいる、のどかな駅西口を散策しました。

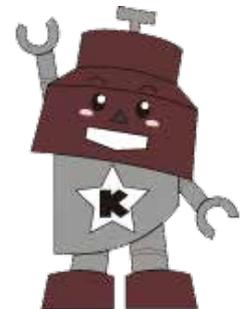
ハイキングの目玉となる荒川ですが、川口の歴史と深く関係しており、川口市の産業振興を担ってきました。荒川は山梨県・埼玉県・長野県の県境に位置する甲武信ヶ岳を水源とし、最終的に東京湾へ注ぐ約170kmの都市河川です。この荒川では鋳物づくりに適した良質の砂や粘土が取れたことで、川口は江戸時代から鋳物業が発展しており、完成した製品は下流の江戸へ出荷していたそうです。そして、現在も鋳物づくり発展の象徴は川口市のマスコットキャラ「きゅぼらん」に受け継がれています。

さて、ハイキング当日は晴天で、5月中旬でしたが夏の始まりを感じさせる陽気でした。約120名の参加者がリリアパークに集合したのち、開会式が始まり、皆さんと一緒に準備体操をさせていただきました。出発前にはじんわり汗をかくほどの気温で、例年よりも道のりが長いということもあり、体調にも気をつけなければ…と感じました。

ハイキングがスタートし、川口駅周辺を抜け、美術施設や商業施設が立ち並びボンシティを通過し、荒川運動公園に到着したところで記念撮影、今度は河川敷に沿って併設された、ハイキングコースに沿って川口駅へ向かいます。見晴らしが良い河川敷からは東京スカイツリーまで見ることができ、眺望と吹き抜ける風がすがすがしい気持ちにさせてくれました。そして、20分ほど荒川を堪能し、ゴール地点の銀座アスターで昼食、閉会式となりました。

川口周辺は私自身が育った町でもありますが、まだまだ知らない場所があり、今回のハイキングは埼玉の新たな一面を発見する良い機会でした。もうすぐ暑い夏も終わり、秋を迎えるので、健康づくりもかねて街の散策にでかけてみようと思います。

最後に、スタッフの皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました!!



きゅぼらん

